

地区会開催

◆東北・北海道地区合同会議

平成25年7月5日、東京ドームホテル札幌において、東北地区会(代表幹事：石塚卓美、東北インフォメーション・システムズ(株) 相談役)と北海道地区会(代表幹事：大谷勇、(株)HBA 代表取締役会長)の合同会議が開催された。参加者は北海道IT推進協会の会員も含め35名。

冒頭、新たに就任された大谷北海道地区代表幹事から、本日の会議・講演を実りあるものとしていただければ幸いである旨の挨拶があった。

続いて、新たにJISA副会長に就任し、北海道地区会、東北地区会を担当することになった横塚裕志副会長から、これからのITは、今まで行っていなかった新しいビジネス分野を開拓していくために活用していくべきである。また、世界最先端のIT国家にするためには、IT部門が頑張るだけでなく、ビジネス側のIT利活用を促進する政策も必要である。皆さんとの意見交換を通じて、JISAの政策提言に取り入れていきたい等の挨拶があった。

来賓の北海道経済産業局・東川敏文地域経済部長から、経済産業局のIT政策の一つとして、農業に携わっている若者がITをどのように活用し、農業をいかにして強くしていくか、ITの利活用を通じて地域経済を活性化させていきたいと挨拶があった。

議事に入り、最初に経済産業省商務情報政策局情報処理振興課・小池明課長補佐が6月14日に閣議決定された、日本再興戦略－JAPAN is BACK、世界最先端IT国家創造宣言やサイバーセキュリティ戦略の概要について紹介した後、経済産業省の取組みとして、ビッグデータ、人材育成及び組込みソフトウェア関連の施策について説明があった。

JISA河野副会長・専務理事から、最近の経済・業界動向(JISA基本統計2012、特サビ動態統計、DI調査)の説明の後、6月12日の定時総会において選任されたJISA新役員の紹介、国際会議関係、法務省へ提出した「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」への意見等、最近のJISA活動状況に報告があった。

最後に、東北及び北海道地区会の石塚、大谷代表幹事から、両地域の経済情勢及びIT業界の動向等について報告があった。

休憩を挟んで、株式会社道銀地域総合研究所・執行役員経済調査部長の松本則栄氏による『北海道経済の現状と北海道・東北の連携』と題する講演が行われ、北海道の観光振興、農業の6次産業化や被災地支援への取り組み事例等を紹介しながら、大震災の前後にみられる違いなどを含め北海道と東北の間で拡大しつつある経済交流について講話された。

講演会終了後の懇親会では、合同会議に参加されたJISA浜口会長が「業界としても番号制度を是非成功させたいので、会員各位に積極的な提案をお願いしたい」と挨拶し、乾杯の発声を行った。

(菊池)